

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-264-7211

年度	令和4年度		
組織名(部)	西区	組織名(準部・課・機関名)	地域課
組織の目的	区自治協議会、コミュニティ協議会をはじめ区民との協働を進め、地域の特性を活かしながら地域課題の解決に向けて積極的に取り組みます。大学が立地する西区の特性を活かし、大学をはじめ地域との連携により文化やスポーツの振興とともに区民の交流を促進し、西区の一体感を深めます。魅力あふれる自然やスポットの情報発信により、人々が行き交う活力あるまちを目指します。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			補足・参考指標
1		西区の魅力を、広く区内外に発信するとともに、区民とその魅力の共有を図ります。	・SNS(Facebookなど)による紙媒体に頼らない情報発信	SNSによる情報発信件数(件)	45	81	81	100	153	Instagram、Facebookによる情報発信の件数	Facebook: 19回 Instagram: 134回	達成
2		だれもが学び合える学術と文化のまちを推進するため、様々な分野で大学と連携して事業を実施します。	・西区アートプロジェクト(音楽・造形)など	大学と地域課の連携事業件数(件)	9	8	8	8	8		・西区アートプロジェクト(音楽・造形)など8件	達成
3		地域特性を生かした新たな文化創造への支援とスポーツ振興を図るため、大学や地域と連携し住民が親しみやすい事業を実施するとともに、西区の一体感の醸成を図ります。	・西区スポーツマイルプロジェクト ・西区スポーツ振興関連事業	参加者アンケートでの満足度(%)	91.2	84.9	90.8	85.0以上	95.4	・各事業で実施するアンケートでの満足度	かけっこ教室(春) 98.3% かけっこ教室(秋) 96.1% 西区ウオーク 82.5% プロアスリート教室(アルビBB) 100% ランニング & ウォーキングセミナー 100%	達成
4		自然環境の保全と活用を推進するため、佐潟に関連する活動の支援等を通じて、環境保全意識のさらなる定着を図るとともに、人々が行き交う活力あるまちを目指します。	・佐潟ボランティア解説員制度の運用 ・佐潟水鳥・湿地センターを拠点とした啓発活動の実施 ・各種イベントでのPR ・里潟づくりの推進	佐潟水鳥・湿地センターで開催する事業数(件)	40	25	32	36	36	・佐潟のPRを含めた自主事業の件数 3回/月×12か月	昆虫観察会・冬鳥ウォッチング他 12回 佐潟自然散歩 14回 佐潟探鳥散歩 10回	達成
5		地域における自治をさらに推進するため、区自治協議会の活動の活性化を図るとともに、コミュニティ協議会の事業支援を行います。	・区自治協議会広報紙の発行支援 ・コミュニティ協議会への事業支援	区自治協議会広報紙等の発行回数(回)	4	4	4	4	4	・区自治協議会広報紙等の発行回数(回)	西区自治協議会広報誌発行 3回 西区だよりに自治協議会の特集を掲載 1回	達成
				事業支援件数(件)	13	13	13	15	15	・コミュニティ協議会への助言・相談等の支援件数	15コミ協を支援	

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>区ビジョンまちづくり計画に掲げる「目指す区のすがた」を実現するため、区民との協働により、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、感染拡大防止対策を取った上で以下のことに取り組みます。</p> <p>「都市と農村が融合するまち」を推進するため、区の魅力をSNSなどにより広く区内外に発信するとともに、区民とその魅力の共有を図ります。</p> <p>「だれもが学び合える学術と文化のまち」を推進するため、大学連携に取り組みとともに、地域特性を生かしたアートプロジェクトの支援、スポーツ振興事業を行い、西区のさらなる活性化と、区民の一体感の醸成を図ります。</p> <p>「豊かな自然と快適な住環境を大切にすまち」を推進するため、佐潟を通じて環境保全意識のさらなる定着を図るとともに、地域や関係機関と連携し、人々が行き交う、活力のある西区を目指します。</p> <p>少子高齢化・人口減少社会が急速に進む中、「地域と区役所が共に歩むまち」づくりを推進するため、協働の要である区自治協議会とのさらなる連携を図るとともに、各地域における自治を推進するため、コミュニティ協議会の事業支援を行います。</p>	<p>「区ビジョンまちづくり計画に掲げる「目指す区のすがた」を実現するため、区民との協働により、以下のことに取り組みました。</p> <p>「都市と農村が融合するまち」を推進するため、区の魅力を広報紙のほか、積極的にSNSを活用し広く区内外に発信するとともに、区民とその魅力の共有を図りました。</p> <p>「だれもが学び合える学術と文化のまち」を推進するため、アートプロジェクトなど大学連携に取り組み、西区のさらなる活性化と、区民の一体感の醸成を図りました。</p> <p>佐潟を通じて環境保全意識のさらなる定着を図り、昆虫観察会や冬鳥ウォッチング、佐潟自然散歩など、多くの自主事業を開催することで、「豊かな自然と快適な住環境を大切にすまち」の実現を推進しました。</p> <p>少子高齢化・人口減少社会が急速に進む中、「地域と区役所が共に歩むまち」づくりを推進するため、協働の要である区自治協議会とのさらなる連携を図り、自治協議会の活動や、地域課題に取り組む地域の活動を広報紙を通じて発信しました。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-264-7211

年度	令和4年度		
組織名(部)	西区	組織名(準部・課・機関名)	区民生活課
組織の目的	住民登録や印鑑登録、戸籍、国保・年金、ゴミなど区民の日常生活に身近な行政窓口として、お客様満足度の高いサービスを提供します。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			補足・参考指標
1		窓口サービスを向上させます。	・窓口アンケートの実施	窓口アンケート点数(点)	4.73	4.71	4.62	4.58以上	4.68	・R4目標より過去3か年度(H31~R2)の全区平均(全区でのアンケート実施はR2まで)を指標に設定した。	・「職員の説明」や「接客態度」は4.78と高評価でしたが、「庁舎の案内表示」、「窓口や周辺掲示物の整理整頓」が目標点以下だったため、改善事項として随時、周知していきます。	達成
2		職員の窓口対応能力を向上させます。	・業務に関する研修や自己啓発研修の積極的な受講 ・事例検討など職場内研修の実施	職員1人あたりの年間研修受講回数(全員必修の研修を除く)(回)	6.3	6.4	5.8	5.0以上	8.3	・R4年度は、コロナ感染対策及び選挙が3回あるため、実施回数目標を5.0回/人に設定した。(R3目標は6.4回/人)	・R4年度は国保・税(収納)システムの更新により、操作研修など研修の機会が増えました。また、各係で業務担当者を講師とした係内研修を積極的に実施し、専門知識の向上を図りました。	達成
3				係内研修の実施(回)	21	31	25	18以上	29	・R4年度は、コロナ感染対策及び選挙が3回あるため、実施回数目標を3回/係に設定した。(R3目標は3.5回/係)		
4		窓口改善活動を進めます。	・フィールドイノベーションメンバーを中心とした窓口の改善活動	窓口改善に向けた提案とその実現	改善提案項目の実現	改善提案項目の実現	改善提案項目の実現	改善提案項目の実現	改善提案項目の実現		・R4年度は、前年度参加できなかった健康福祉課職員もメンバーに復帰し、1階窓口職場合同で新規1事業、継続4事業を実施しました。	達成
5		西区の環境美化を進めます。	・一斉クリーンデーへの協力・支援 ・自治会、民間団体が実施するボランティア清掃活動への支援 ・西川、新川の清掃活動への協力・支援 ・子ども達への環境美化啓発活動	ボランティア清掃等の参加団体数(団体)	195	156	169	169以上	203	・ボランティア清掃は、自治会等を単位 ※コロナ禍で活動を自粛する団体が多く、R4年度も感染拡大が収束しないことから、影響を考慮	・コロナ禍ではありましたが、自粛していた活動も再開され、参加団体も前年を上回り、目標を達成しました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>西区サービス憲章に掲げる「西区の笑顔倍増計画」に向けて、質の高いまごころのこもった窓口対応により、窓口サービスの向上を図ります。親切・丁寧・迅速・的確な市民サービスを提供するため、ベースとなる職員のスキルアップを図ります。市民の視点に立ち、利用しやすい窓口サービスを実現するため、「心地よい待ち合いスペース」、「スムーズな手続き」、「笑顔あふれる職場」をめざした窓口改善活動を推進します。大人も子供も「自分たちの住む地域を少しでもきれいにしよう」という意識の向上を図り、一斉クリーンデーや各種団体の環境美化活動への支援等により、きれいな西区づくりを進めます。</p>	<p>マイナポイント手続きの専用ブースを2階(区政情報コーナー)に設置することで、マイナンバー関連事務の効率化と1階待合室の混雑緩和を図りました。窓口アンケートの結果から、庁舎の案内表示、窓口や周辺掲示物の整理整頓が目標点以下だったため、窓口改善活動(F1チーム)の一環として、待合室イスの背面にクリアファイルを設置し、チラシの劣化を防ぐとともに入替が容易にできるようにしました。また、関係各課に情報を共有し改善を促しました。区民の環境保全やきれいなまちづくりに対する意識向上のため、小学生を対象としたポスターコンクールや「子どもエコ教室」を実施し、環境美化意識の啓発に取り組んだほか、地域清掃活動の相談、支援を行いました。来年度から、コミュニティ協議会や自治会・町内会の清掃活動がより柔軟なものとなるよう「西区一斉クリーンデー」を「西区クリーン月間」に変更する予定です。引き続き、地域清掃活動へ協力・支援を行い、多くの区民から清掃活動に参加してもらうことで、西区の環境美化を進めます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-264-7315

年度	令和4年度		
組織名(部)	西区	組織名(準部・課・機関名)	健康福祉課
組織の目的	区民が生涯にわたって住み慣れた地域で生き生きと安心して暮らせるように、質の高い保健福祉サービスの提供と、健康づくりの普及・啓発を図ります。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標			R4結果	補足・参考指標
1	1	高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できる地域づくりを行います。	・認知症サポーター養成講座	参加者延人数(人)	-	-	743	750	308	・西区キャラバン・メイト連絡会等、関係機関と協働で、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に関する正しい知識を広めます。	評価指数を小中学校を対象とした受講者数としているため、コロナの影響を受けやすいことから後期は伸び悩みました。ただ同事業で協力しているキャラバンメイト連絡協議会では警察学校や看護医療専門学校など区内での認知症サポーター養成講座を多数実施しました。	未達成
2		障がい者の自立や就労に向けた支援を行います。	・農福連携サポーターの農場への派遣	派遣時間(時間)	94	215	258	220	281.5	・農福連携マッチング機関と連携し、障がい関連事業所の通所者が行う施設外就農等に対して、農作業の指導を行います。	登録して頂いたサポーターの人数が増えたため、複数の農場に派遣することができ、昨年度よりも派遣時間数を増加させることが出来た。	達成
3		健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進します。	・西区健康ステップアップ事業 1 誰でもどこでも健康教室 2 高齢者体操自主活動サポート事業	実施回数(回)	67 (1248人)	56 (523人)	45 (319人)	54	56	・感染症対策により、1回の参集人数が少なくなっているため、指標を人数ではなく実施回数としました。	誰でもどこでも健康教室は16回実施しました。高齢者体操自主活動支援では今年度で、区づくりでの支援を終了するため、支援者とのつなぎや次年度の活動について全団体に支援を行いました。	達成
4	2		・健康寿命延伸事業 1 ハイリスク者健康相談事業 2 西区発！健康アップカレッジ	参加者延人数(人)	194	199	169	200	241	・【対象者】 血圧、脂質、血糖が重複して有所見、あるいは血糖のみが有所見で、特定保健指導の対象者を除く者 ・【参加者内訳】 (1)ハイリスク者健康相談80人 (2)健康アップカレッジ 60人×2回	ハイリスク健康相談は月平均12人の利用があり、特定健診結果から、健康に関する課題を確認し自身の生活習慣の見直しことができました。健康アップカレッジは22人の申込があり1人に対して4回の支援を実施し、自身の課題から生活習慣改善を目指した目標の設定を行いました。	達成
5	3	子育て中の親の孤独感、不安感を軽減させ、健全な子育てを支援します。	・子育て支援講座の実施 ・子育て支援関係者の交流会を開催 ・子育て情報誌の発行 ・妊娠期及び3歳までの乳幼児を育てている人を対象に子育て支援情報をSNS(LINE)で配信	子育て支援情報配信事業の新規登録者数(累計人数)	2,040	3,520	4,719	5,559	5,749	・【登録者数内訳】 子育て支援情報配信事業 新規登録者数 (1)妊娠期：R2年出生数1,041人の40%(≒417人)⇒目標420人 (2)育児期：R1年出生数1,041人の40%(≒417人)⇒目標420人 (1)+(2)=目標840人	令和5年3月末時点で、今年度の新規登録者数は1,030人、累計登録者は5,749人となり、後期目標を達成しました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>超高齢化が進む中、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症サポーター養成講座を開催し認知症に関する正しい知識を広めます。</p> <p>さらに、障がいのある方が就労して地域で自立した生活を送ることができるよう、「農福連携サポーター」を派遣します。</p> <p>健康づくり事業は、健康寿命の延伸を目指した各種健康づくり教室を引き続き実施するとともに、子育て世代を切り口にするこで、若年世代にも生活習慣予防の意識醸成を図ります。さらに、相談事業と「西区発！健康アップカレッジ」の講座をリンクさせた効果的な支援を継続して実施します。</p> <p>また、令和元年度から開始した、妊娠期から3歳未満の子育て中の方を対象に、妊娠や育児に関する情報と区役所からのお知らせをSNS(LINE)で配信する「にっこはぐみLINK」を引き続き実施し、妊娠期から育児期まで切れ目のない支援を行うことで、育児の不安や孤独感の軽減を図ります。</p> <p>これらの取り組みにより多くの区民の参加と協力を得て、共に保健福祉と健康づくりに取り組んでいきます。</p>	<p>高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できる地域の実現のため、支え合いのしくみづくりの推進に取り組み、認知症対策として、地域での見守りを行うサポーターを育成する「認知症サポーター養成講座」を継続して実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け参加者数は伸び悩みましたが、今年度新たに実施した認知症検査と専門家による公開講座とあわせ、広く区民に対して認知症への理解を深めることが出来ました。</p> <p>区民の皆さまがいつまでもお元気で長生きしていただけるよう、健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進しました。ハイリスク健康相談は特定健診結果から健康に関する課題を確認し自身の生活習慣の見直しことができました。また、健康アップカレッジは自身の課題から生活習慣改善を目指した目標の設定を行うとともに、対象者個人の評価として血液検査や食事調査等を行いました。さらに、西区健康ステップアップ事業として、誰でもどこでも健康教室を16回実施し、高齢者体操自主活動支援では、今年度で区づくりでの支援を終了するため、支援者とのつなぎや次年度の活動について全団体に支援を行いました。</p> <p>子育て支援では、乳児期から学齡期(前期)までの各期にわたる子育て支援講座を実施しました。また、妊娠期から3歳未満の子育て中の方を対象としたLINEによる情報発信「にっこはぐみLINK」を新たに1,030人の区民からご利用いただき、令和元年7月の開設からの累計新規登録者数は5,749人となりました。目標を大きく上回る区民にご利用いただき、子育て中の親の孤独感、不安感の軽減、健全な子育てを支援しました。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-264-7731

年度	令和4年度		
組織名(部)	西区	組織名(準部・課・機関名)	西地域保健福祉センター
組織の目的	区民が生涯にわたって住み慣れた地域で生き生きと安心して暮らせるように、質の高い保健福祉サービスの提供と、健康づくりの普及・啓発を図ります。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標			R4結果	補足・参考指標
1	2	健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進します。	・特定保健指導の実施率を高めるため、電話による利用勧奨	利用勧奨電話の実施人数(人)	-	-	-	対象者の全て	対象者の全て(56)	・これまでも、未利用者には電話で利用勧奨をしてきましたが、全数には実施していませんでした。 ・R4年度は、対象者全数に電話で利用勧奨を行います。	対象者56人全員に対し、利用勧奨電話を実施し、そのうち3人が利用に繋がりました。利用に繋がらない人でも、健診結果について電話で指導できました。	達成
2	3	子育て中の親の孤独感、不安感を軽減させ、健全な子育てを支援します。	・西地域保健福祉センターの会議で検討した妊婦支援について、センター職員全員でモニタリングを実施	検討事例(数)	-	検討したケース全数(231)	検討したケース全数(203)	検討したケース全数	検討したケース全数(204)	・R2年度から、センターの会議で検討した妊婦支援について、センター職員全員でモニタリングを実施しました。 ・R4年度は、マタニティナビゲーターにも検討に入ってもらう機会をつくり、引き続き妊婦支援に力を入れていきます。	毎月のセンター会議で、要支援妊婦の新規ケース検討を64件行いました。さらに、全ケースについてモニタリングを延204件実施しました。	達成
3												
4												
5												

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>これまでの課題として、特定保健指導の実施率が低いことがあり、健康寿命の延伸を目指す取り組みとして、特定保健指導の実施率を高めることに力を入れていきます。</p> <p>方法としては、毎月案内する特定保健指導対象者で、翌月再案内をしても申込みのない人を対象に電話で利用勧奨を行います。勧奨により、特定保健指導利用につながることも今後も健診受診を継続し、健康づくりを実践できることを目指します。</p> <p>母子保健では、R2年度から妊婦支援についてセンター職員全員でモニタリングを行い、より良い支援を検討しています。今年度は、マタニティナビゲーターにも検討に入ってもらう機会をつくり、特定妊婦へのタイムリーで適切な支援につながるよう、継続して妊婦支援に力を入れていきます。</p>	<p>特定保健指導の実施率を高めるため、毎月案内する特定保健指導対象者で、翌月再案内をしても申込みのない人を対象に電話で利用勧奨を行いました。勧奨により、特定保健指導利用につながった人数は少なかったですが、利用に繋がらない人でも、健診結果について電話で指導できました。今後も健診受診を継続し、健康づくりの実践につなげていきたいと思っています。</p> <p>母子保健では、要支援妊婦の新規ケースの検討と全ケースのモニタリングを確実に実施することにより、適切な時期に必要な支援を行うことができました。要支援妊婦への支援は重要であることから、今後もマタニティナビゲーターやこども支援担当と連携し、引き続き力を入れて実施していきます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-264-7474

年度	令和4年度		
組織名(部)	西区	組織名(準部・課・機関名)	黒埼地域保健福祉センター
組織の目的	区民が生涯にわたって住み慣れた地域で生き生きと安心して暮らせるように、質の高い保健福祉サービスの提供と、健康づくりの普及・啓発を図ります。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			補足・参考指標
1	2	健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進します。	・食生活改善推進委員との連携による生活習慣病予防のための食生活改善事業 ・運動普及推進委員との連携による運動推進事業	食生活改善推進委員および運動普及推進委員との連携による健康教育の実施(回数)	18	5	8	5	5		茶の間やサロンから依頼を受け、運動推進委員と連携し、健康教育を5回実施しました。感染防止対策として調理・会食を自粛したため、食生活改善推進委員との健康教育共同開催は出来なかったが、同黒埼地区会長と打合せを行いました。	達成
2	3	子育て中の親の孤独感、不安感を軽減させ、健全な子育てを支援します。	・地域における子育て支援者を対象に、情報交換会・ネットワーク会議及び子育て支援講演を開催	講演会・情報交換会・ネットワーク会議の実施(回数)	4	3	0	3	3		感染症予防のため保育園や養護教諭等との情報交換会は書面になりましたが、子育て支援後援会は予定通り開催しました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>健康寿命の延伸に向けた取り組みとして、食生活改善推進委員や運動普及推進委員と連携し、サロンや子育て支援センターなど地域の様々な集まりの場を通じて、幅広い年齢層に生活習慣病予防や運動普及をテーマにした健康教育を行います。</p> <p>子育て支援の取り組みでは、子育て支援関係者の情報交換会や講演会、学校や保育園との連絡会を開催し、地域の健康課題を考えるとともに、子育ての不安や悩みを軽減し、子供たちが健全な生活を送れるための支援の在り方を検討します。</p>	<p>健康寿命の延伸に向けた取り組みとして、高齢者健康づくり講座のほか、サロンや子育て支援センターなど地域の様々な集まりの場で運動推進委員と連携して生活習慣病予防や運動普及をテーマにした健康教育を行いました。次年度も引き続き食生活改善推進委員や運動普及推進委員と連携し、地域の様々な集まりの場を通じて、幅広い年齢層に生活習慣病予防や運動普及をテーマにした健康教育を行います。</p> <p>子育て支援の取り組みでは、書面で保育園・学校等関係者との情報共有を行うとともに、地域の子育て支援関係者からの要望を受けてメディアに関する講演会を実施しました。次年度は既存の会議や講習会の位置づけを見直して、地域の支援者同士が顔を合わせられる体制にするとともに、個別ケースを通して各関係施設との連携を深め、安心して子育てができ、子どもたちが健やかに育まれる地域づくりに取り組みます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-264-7321

年度	令和4年度		
組織名(部)	西区	組織名(準部・課・機関名)	保護課
組織の目的	困窮するすべての区民に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長します。 現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方の自立の促進を図ります。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標				R4結果
1		貧困の連鎖を防止するため、被保護世帯、困窮者世帯の児童・生徒へ学習支援を行います。	・土曜日・日曜日に学習会を開催 ・中学3年生対象学習会 ・先輩の話を聴く会 ・家庭支援	学習会参加登録者数(人)	33	30	30	30	30	・西区の被保護者世帯、困窮者世帯の概ね小学5年生から高校生までを対象とします。	学習会の参加については、担当者からの対象世帯へのアプローチや区報等による周知により当初の目標登録を達成することができました。家庭支援は、コロナ禍による対話での支援のほか電話での支援を行いました。	達成
2		すべての稼働年齢層(15歳～64歳)の被保護者の稼働能力を検討し、求職指導対象者への就労支援を行います。	・生活保護受給者等就労自立促進事業への参加勧奨 ・就労準備支援事業への参加勧奨 ・就労支援に関する勉強会開催	就労支援事業利用者数(人)	155	134	173	120	144	・労働局と新潟市が一体的に行う「生活保護受給者等就労自立促進事業」で設定した目標です。	就労支援員とハローワークとケースワーカーの3者による支援対象者の掘り起こしから就労まで一体的に取り組むことができました。また、勉強会を実施し、当該事業の重要性を認識してもらうことができました。	達成
3		適正な生活保護制度の実施のため、保護業務の基本となる訪問調査活動について、計画に基づいた訪問を行います。	・訪問計画に基づいた訪問活動の実施 ・訪問格付の随時見直し ・長期未訪問世帯の解消	訪問格付けに基づいた訪問計画数に対する実施の割合(%)	84.0	91.2	評価不能	87.6	評価不能	・不在訪問回数は含んでいません。 ・昨年度が評価不能だったため、2か年の平均値としています。	コロナの感染拡大による影響で、定期的な家庭訪問を自粛させるを得ない状況であった。但し、保護世帯とのつながりを保つため、電話や手紙で世帯状況を確認し、必要な支援の継続に努めました。	未達成
4												
5												

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
西区の生活保護世帯の傾向として、稼働年齢で就労阻害要因のない「その他世帯」が一定の割合を占めています。就労支援では、区役所内にハローワークコーナーがある利便性を活かしながら、関係職員と連携を図り、経済的、社会的自立に向けた就労の支援を行っていきます。 子ども学習支援事業では、子ども勉強会の実施による社会的な居場所づくりや学習習慣の定着を図り、また生徒及び保護者に対し、将来に目を向け社会的に自立することの大切さを認識してもらえよう家庭への支援を行うことで、貧困の世代間連鎖の防止を目指します。 訪問調査活動は、被保護者世帯の生活実態を把握し、悩みや困っていることを共有し、それに対する助言等を行いながら、世帯の自立を助長するための指導を行うための重要な現業業務です。その基本的な業務を確実に、各世帯へ計画に基づいた訪問を行い、途切れない支援へつなげるよう、訪問格付けとの実施率の向上を目指します。	稼働年齢で就労阻害要因がない者は、その能力を活用する必要があります。ただ能力は個々に違いがあり、能力を見極め、支援事業参加を推進していくためには、専門的な知識を有する就労支援員及びハローワークとの情報共有及び連携が必須であり、今後も緊密に連携し実施していきます。 学習支援事業においては、学習習慣の定着や社会的な居場所づくりという重要な視点を認識しながら、子ども一人一人の実態や個性を受け止めた支援を今後も継続的に行う必要があります。また、子どもだけではなく、保護者に対して子どもの社会的な自立に向けた進学等のサポートを理解してもらおうとともに必要な支援を行います。 訪問調査活動においてはコロナ禍による感染拡大防止の影響で、本来あるべき定期的な家庭訪問ができない状況が2年続いたことはやむを得ない状況でしたが、世帯との繋がりが途切れないよう電話等の手段により、生活状況の確認は行ってきました。今後は家庭訪問も通常どおりとなったため、相手との直接的なコミュニケーションや実態確認を行い、適正な生活保護実施に努めていきます。

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-264-7603

年度	令和4年度		
組織名(部)	西区	組織名(準部・課・機関名)	農政商工課
組織の目的	生産者と消費者の交流や地産地消、特産農産物の消費拡大を推進し、農業の振興及び食と農を活かした都市と農村の融合を進めます。また、関係団体と連携して地域経済の活性化を図るとともに、観光資源を活用した交流人口の拡大を進めます。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標			R4結果	補足・参考指標
1		「くろさき茶豆」や「いもジェンヌ」など西区の特産農産物の知名度向上と消費拡大を推進します。また、農商工連携により高付加価値化・ブランド化に取り組みます。	・特産農産物の知名度向上及び消費拡大を目的とした市内外へのPR	Twitter(枝豆)とInstagram(枝豆・いもジェンヌ)のフォロワー数(人)	-	-	3,053	4,600	17,756	SNSの活用 くろさき茶豆: Twitter、Instagram いもジェンヌ: Instagram	西区特産農産物のPRのため、適宜SNSを活用し、知名度向上のための取り組みを実施した結果、フォロワー数が飛躍的に伸びました。 【R5年3月24日現在 フォロワー数】 ・くろさき茶豆: Twitter 13,437人、Instagram 1,749人 ・いもジェンヌ: Instagram 2,570人	達成
2	5	都市と農村、生産者と消費者との交流の場を設け、地場農産物の周知と地産地消、消費拡大を図ります。	・特産農産物の知名度向上及び購買機会につなげるため、親子収穫体験事業の実施	親子収穫体験の参加組数	-	-	78	150	172	5品目(すいか、茶豆、ルレクチエ、チュウリップ、大根)で実施 1品目あたり30組の親子を想定	参加組数は、5品目で172組(すいか39組、茶豆39組、レクチエ36組、チュウリップ13組、大根45組)となり、花き品目では、参加想定組数を下回ったものの、野菜類での収穫体験は好評でした。	達成
3		赤塚地域・佐潟周辺の「北国街道」沿いや黒崎・内野地域にある観光資源を活用し、地域の魅力の再発見と観光客の誘客を図ります。	・ボランティアガイドを活用したまち歩きの実施	区主催のまち歩き実施回数(回)	4	6	6	7	9	まち歩き開催地区 黒崎地区、赤塚地区、内野地区 1開催あたり20名程度/地区を想定	ボランティアガイド団体の協力のもと、まち歩きを9回(黒崎地区3回、赤塚地区4回、内野地区1回)開催し、参加者アンケートによる満足度も83%と高い評価でした。	達成
4		意欲ある多様な担い手の確保・育成に向け、新規就農希望者への支援体制を整備するとともに、女性の活躍を推進し、持続可能な農業を目指します。	・新規就農者支援 ・新潟西部地域担い手対策協議会 ・西区農業女子のすゝめ	関係機関と連携した担い手勧誘活動回数 (農林業新規就農・チャレンジフェアへの出席、WEB就農相談会、農業女子のすゝめ)	-	-	7	8	10		新潟西部地域担い手協議会による勧誘活動として、就農チャレンジフェア(8.10.12.2月)、新農業人フェア(7.10.11.1月)への出展のほか、WEB就農相談会(7月、11月)の実施により、新規就農者17名の確保につながりました。	達成
5		農業生産力を維持し、農業経営の安定化を図るため、優良農地の保全・活用や整備促進に努め、ICT技術の活用・導入による省力化や、生産性の向上を推進します。	・人・農地プラン作成事業 ・農地中間管理事業 ・機構集積協力金事業 ・耕作放棄地未然防止事業 ・持続可能なICT地域農業推進事業(ドローンを活用した水田転換作物の現地確認) ・元気な農業応援事業(スマート農機特例、スマート農業取り組み支援)	人・農地プランの策定に向け、協議を行った地域数	4	5	3	4	4	・農業経営基盤強化促進法の一部改正(人・農地プランの法定化) ・R2年度末には新潟市全域で人・農地プランの実質化 ・R3実績3(新通上、黒鳥、金巻)、地域集積協力金事業活用:1(新通上)	新通下、小新、黒鳥、亀島の4地区で人・農地プラン策定に向けた説明(話し合い)を開始しました。 新通下地区については地域集積にも取り組み、集積協力金申請により、基盤整備を行うなど農地の保全活用につながりました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>「くろさき茶豆」「いもジェンヌ」をはじめとする西区特産農産物のさらなる知名度向上及び販路と消費の拡大、高付加価値化、ブランディングの確立のため、Twitter(枝豆)及びInstagram(枝豆・いもジェンヌ)による発信を強化し、多くのフォロワーの獲得に取り組みます。</p> <p>西区内の農家との交流の場として親子収穫体験を開催し、地場産の農産物への理解と知識を深める取り組みを推進します。</p> <p>赤塚地域・佐潟周辺の「北国街道」沿いや黒崎・内野地域にある観光資源を活かしたまち歩きについて、地域団体やボランティアガイドの協力のもと新型コロナウイルス感染症対策を踏まえて実施し、マイクロツーリズムによる地域の魅力の再発見につなげます。</p> <p>多様な担い手の確保・育成に向け、新潟西部地区担い手協議会で実施している里親制度のほか、女性農業者を対象にネットワーク化やスキルアップのためのワークショップを開催し、西区の新規就農者数の増加に取り組みます。</p> <p>持続可能な力強い農業を実現するため、耕作放棄地未然防止事業を実施し、優良農地の保全、活用に取り組みほか、農業委員会やJAをはじめとする関係機関と連携しながら、農地集積・集約を進めます。</p> <p>ICT技術の導入による生産性の向上を推進し、ドローンによる水田転換作物の作付確認及びAI認証実験を引き続き行い、農業経営の安定化や省力化に取り組みます。</p>	<p>国の地理的表示保護制度の登録産品「くろさき茶豆」や、食と花の銘産品「いもジェンヌ」のPR・販売促進活動のため、Twitter(枝豆)とInstagram(枝豆・いもジェンヌ)を活用して積極的に展開した結果、多くのフォロワーを獲得し、知名度を向上させることができました。引き続きSNSを活用したPRを実施するとともに、コロナの状況を見ながら県内外への販促にも取り組みます。</p> <p>親子収穫体験については、計5品目の実施に548人の参加があり、農家と市民が交流することにより、地場産農産物への理解と知識を深めることができました。今後多くの市民が西区の農産物に触れることのできる機会を提供していきます。</p> <p>地元ボランティアガイドのご協力のもと開催するまち歩きは、計9回実施し、地域の魅力の再発見と観光客の誘客を図ることができました。新たなガイドマップを作成・配布することでまち歩き参加者の一層の理解を深めます。</p> <p>新潟西部地域担い手協議会での勧誘活動や取り組みの結果、新規就農者の確保につながったことから、引き続き関係機関の協力のもと、多様な担い手の確保に向けた取り組みを行うとともに、区づくり事業である「西区農業女子のすゝめ」の開催により、担い手育成にも取り組んでいきます。</p> <p>区内4地区で人・農地プランの策定に向けた話し合いを行い、農地の集積・集約化を進めました。優良な農地を次の世代へ着実に引き継いでいくため、地域計画(目標地図)の策定や策定に向けた話し合いを引き続き実施し、担い手の経営安定や規模拡大、効率的な土地利用を促進していきます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	025-264-7661
------------	--------------

年度	令和4年度		
組織名(部)	西区	組織名(準部・課・機関名)	建設課
組織の目的	多様な市民ニーズに応えるため専門知識を深め市民目線で対応するとともに、市民との協働によりお互いの役割分担を踏まえながら、安心して安全に暮らせるまちづくりを推進します。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標				R4結果
1		小針青山海岸周辺地区における安心・安全な住環境と緊急輸送路の機能を確保するため、国道402号の飛砂対策を講じます。	・高さH=3mの飛砂防止柵の整備	整備延長(m)	261	249	102	90	78	・老朽化している高さH=2.5mの鋼製の飛砂防止柵を、高さH=3mのものに改良	・資材単価の高騰などに起因し、施工延長は78mとなりましたが、道路上に堆積した飛砂の除砂回数は、これまでの最小回数である13回にとどまり、飛砂対策の効果が確実に発現されています。	達成
2		速やかなサービス提供と事業効果の早期発現を図るため、年間の施工時期等の平準化に配慮しながら、工事の早期発注に努めます。	・工事の早期発注	上半期発注率(%)	80	82	69	70~80	86	・当初予定した年間予定工事数に対する上半期の発注率 ・早期事業効果発現や施工時期等の平準化を見据えた目標値を設定	・計画的な発注作業を行うことで上半期の発注率は目標を上回りました。なお、年度内にすべての工事の発注が完了しています。	達成
3		市民からの要望に迅速に回答します。	・要望後10日以内に回答します。	要望書を受理後、10日以内に回答した割合(%)	100	100	100	100	100		・要望書を受理日や内容をデータ化し課内で共有するなど適正な進捗管理に努め、すべての要望に対し10日以内に回答しました。	達成
4												
5												

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>国道402号の飛砂対策として、老朽化している高さH=2.5mの鋼製の飛砂防止柵を高さH=3mのものに改良を実施し、近隣住宅地への飛砂被害軽減と交通機能の確保を進めます。</p> <p>年間の施工時期等の平準化に配慮しながら、工事の早期発注を行い、事業効果を早期に発現します。</p> <p>住民サービス向上のため、市民からの要望に迅速に回答します。</p>	<p>国道402号の飛砂対策として実施している飛砂防止柵は、着実に更新作業が進んでおり、その効果が着実に発現されています。</p> <p>今後とも継続的に更新作業を行い、飛砂被害の低減を図っていきます。</p> <p>工事の早期発注に努めることで、早期の事業効果が図られています。</p> <p>要望に対する迅速な回答を行うことで、住民サービスの向上に努めました。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-226-7112

年度	令和4年度		
組織名(部)	西区	組織名(準部・課・機関名)	総務課
組織の目的	区の重点取組事項である「人と人がつながり、安心・安全に暮らせるまちづくり」として、地域防災力の向上を図るため防災・減災対策を推進します。また、区職員の資質・能力向上を図るため、区独自の人材育成を実施します。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			補足・参考指標
1	4	地域防災力向上のため、津波や洪水などの自然災害から自らの命を守ることができる地域づくりを進めます。	・津波や洪水の浸水想定データなどを利用した地域の避難マップづくり	地域の避難マップ(データ)完成数(累計)	48	57	57	63	60	自主防災組織や自治会・町内会を単位として、ワークショップを3回開催して作成します。	作成を希望した3地域でワークショップを実施し、マップを完成させ、自治会を通じて全戸に配布しました。当初希望のあった6自治会のうち、3自治会がコロナ禍などを理由に辞退したため一部未達成となりました。	一部未達成
2		避難行動要支援者支援制度に対する地域の理解を深め、支援体制の充実を図ります。	地域向けの研修会の開催	避難行動要支援者支援体制の充実への取り組み	-	-	-	実施	実施	地域向けの研修会はコミ協(又は小学校区単位)での開催を原則とする。	自治会長と民生委員を対象として、2つのコミ協で1回ずつ研修会を開催しました。	達成
3		区職員を対象とした研修を実施し、職員の資質・能力向上を図ります。	・新規・異動職員研修 ・人権研修 ・支え合いの仕組みづくり研修 ほか	研修科目数(科目)	13	11	12	10	12		目標を上回り研修を開催することができた、水野塾や支え合いのしくみづくり研修など西区独自の新規研修の開催を行った。また西区内の図書館や公民館の職員にも研修参加者を募り、業務連携の推進も進めた。	達成
4												
5												

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>災害に強いまちを目指し、専門家を活用して地域の避難マップ作成を支援するなど、地域防災力のさらなる向上を進めます。避難行動要支援者支援制度に関する研修会を開催するなどして、制度に対する地域の理解を深め、支援体制の充実を図ります。「はつらつとした風通しのいい区役所づくり」を引き続き重要テーマに位置づけ、西区独自の研修を効率的・効果的に実施し、職員一人ひとりの一層の資質・能力向上を図ります。</p>	<p>地域の避難マップ作成については、専門家を活用したワークショップ形式で行いました。地域住民が専門家のアドバイスを受けながら、住んでいる地域の自然災害の特徴や減災のための行動について話し合い、避難行動を想定した避難マップを作成しました。また、作成をとおして、防災意識の啓発を図りました。次年度も引き続き、希望する地域でマップの作成に取り組みます。避難行動要支援者支援に関する研修会を2つのコミ協で1回ずつ開催しました。地域の自治会長のほか民生委員にも参加してもらい支援する側の共通理解が深められました。次年度は本庁事業へ移管し全庁的に展開されることになりましたので、本庁と連携しながら引き続き研修会を開催していきます。研修については西区役所の職員だけでなく区内の図書館や公民館に声をかけ業務連携の推進を意図して実施するなど従来にはない取り組みを行うなどしました。また、複数の選挙が開催された年でしたが、前年度の実績と同数の研修を実施しました。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	025-264-7705
------------	--------------

年度	令和4年度		
組織名(部)	西区	組織名(準部・課・機関名)	西出張所
組織の目的	地域の身近な行政窓口として、親切・丁寧で正確なサービスを迅速に提供し、市民から親しまれ信頼される出張所を目指します。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標			R4結果	補足・参考指標
1		コミュニティ協議会の活動を支援し、地域との連携を深めます。	・意見交換会の開催		2	0	1	1	1	7月と11月の2回を開催予定していたがコロナ禍で11月は中止	・コロナ禍で会長と事務局長との情報共有に努めてきましたが、令和4年度は、各コミュニティ協議会から課題を持ち寄り、解決に向けて意見交換を行ったほか、西区役所への要望を取りまとめてもらいました。今後もこの連合会を通じて、連携を深めていきます。	達成
2		さわやか運動を基本に、「親切・丁寧・正確・迅速・適切」な窓口対応で市民満足度を高めます。	・窓口アンケートの実施(年1回)		4.58	4.75	4.86	4.75	4.70	5点満点	・12月から1月にかけて、窓口アンケートを実施し、4.70点という一定の評価はいただきました。 ・来庁者からは、親切な対応や丁寧な説明、親しみやすさなどをほめていただき、日頃からの努力が実を結んだ結果となりました。 ・回答別に6問中、案内表示や記載例の分かりやすさは4.75点超えないものはありましたが良好といえる4.50点は超えており概ね達成できました。また、庁内放送に音楽を流すことについては良い評価をいただきました。	一部未達成
3		市民満足度を高めるため、職員の窓口対応能力や資質の向上に取り組みます。	・各種業務研修の受講 ・資質向上を図るための研修等への参加		86	95	86	70回	83回	14人(会計年度任用職員含む)×5回以上=70回以上	・業務担当課が開催する研修だけでなく、係内で事務手順におけるポイントや間違えやすい処理などを中心に、業務に直結した研修を実施しました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>地域自治の推進を図るため、各コミュニティ協議会及び自治会の活動を支援するとともに、西地区の4つのコミュニティ協議会からなる「西地区コミュニティ協議会連合会」とも一層連携を深めます。</p> <p>また、地域とのつながりを大切にしたい信頼される出張所を目指し、2つの連絡所と連携を図りながら、質の高い行政サービスを目指します。そのために、市民ニーズを把握し、改善を加えるための窓口アンケートを実施するとともに、各種研修や講習会に積極的に参加し、職員一人ひとりの資質向上を図ります。</p>	<p>住民から信頼され、地域とのつながりを大切にしたい出張所を目指し、職員の窓口対応能力や資質の向上に取り組みました。各種研修会等への参加を積極的に行い、また、市民ニーズを把握し、改善を加えるための窓口アンケートを実施し、対応や説明などに高い評価をいただきました。引き続き、信頼される出張所を目指します。</p> <p>地域自治の推進を図るための西地区の4つのコミュニティ協議会や自治会の活動支援については、意見交換会の開催などを行ったほか、各コミュニティ協議会の会議や、会長・副会長と面談する機会を捉えて、情報の収集・交換に努めました。次年度も状況を見ながら、工夫して情報共有に努めます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-377-3101

年度	令和4年度		
組織名(部)	西区	組織名(準部・課・機関名)	黒崎出張所
組織の目的	地域の身近な行政窓口として、親切・丁寧で正確なサービスを迅速に提供し、市民から親しまれ信頼される出張所を目指します。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標			R4結果	補足・参考指標
1		「親切・丁寧・正確・迅速・適切」な窓口対応で市民満足度を高めます。	・窓口アンケートの実施(年1回)	窓口アンケート平均点(点)	4.65	4.51	4.70	4.50	4.47	・5点満点	・常に来所された市民に対して気を配り、積極的な声掛けや丁寧な窓口対応を心掛け、目標に達しませんでしたが高水準を保持しています。	一部未達成
2		市民満足度を高めるため、職員の窓口対応能力や資質の向上に取り組めます。	・各種研修会・講習会への参加 ・職場研修の実施	各種研修会、講習会等への参加者数(人)	81	95	104	60	61	・各種業務研修 ・接遇研修 ・職場研修 ・その他資質向上に向けた研修 ・1人平均5回以上の参加	・職員が窓口対応能力と資質向上に意欲を持ち、研修に積極的に参加しました。 ・職員間で業務手順におけるポイントや間違えやすい処理などを中心に、業務に直結した研修を行い、知識の共有及び窓口対応の向上を図りました。	達成
3		コミュニティ協議会の活動を支援し、地域との連携を深めます。	・黒崎地区各ふれあい協議会主催事業への支援・参加	事業への参加回数(回)	24	15	10	15	16	・黒崎地区ふれあい協議会数4 ・ふれあい協議会(1団体)に対し平均5回以上の参加 ※R4年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した目標設定としました。	・黒崎地区ふれあい協議会主催事業への参加や側面支援を行うことにより、地域との連携を深めました。	達成
4												
5												

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
出張所は地域で一番身近な行政窓口であることから、市民満足度の向上のため、窓口アンケートを実施し、市民のニーズを把握します。また、各種研修等に参加し、職員の資質向上、窓口対応力の強化に努め、訪れるお客様が笑顔になれるように親切・丁寧なサービスを提供します。ふれあい協議会や自治会の活動を支援し、地域活動の活性化に繋がります。	窓口アンケートの結果、職員の分かりやすく丁寧な説明など接客態度に高い評価をいただきましたが、要件が済むまでの所要時間や出張所内の案内表示などを改善する必要があります。引き続き良質なサービスの提供に努めます。窓口対応能力の向上を図るため、各種研修会・講習会への参加や職場内研修を積極的に行い、研修成果を活かしたより良い窓口サービスの提供に引き続き取り組みます。運営方法に悩みを持つふれあい協議会があり、ふれあい協議会役員会に出席し、アドバイスを行うなどの取り組みを始めました。今後も支援を続けていきます。